

1. 公海 2. 領海 3. 接續水域 4. 排他的經濟水域

1. 現地で得られた膨大な情報をすべて等しく記録し、後から取捨選択できるようにするため。
2. 過去の統計資料と現在の状況を比較する際に、数値の矛盾をあらかじめ修正しておくため。
3. 調査の方向性を定め、限られた時間の中でどのような情報を重点的に収集すべきかを明確にするため。
4. 調査の結果が自分の予想と一致することを証明し、客観的なデータを収集する手間を省くため。

1. 国後島と択捉島 2. 歯舞群島と択捉島 3. 歯舞群島と国後島 4. 択捉島と国後島

1. 接續水域 2. 公海 3. 排他的經濟水域 4. 領海

1. 約223メートル 2. 約183メートル 3. 約133メートル 4. 約203メートル

1. 国後島 2. 歯舞群島 3. 択捉島 4. 色丹島

1. 日本独自の伝統的な意匠を強調することで、観光客に日本文化をアピールするため	2. スマートフォンの普及に伴い、デジタルカメラで読み取りやすい複雑な模様にする必要があったため	3. 少子高齢化の影響で、文字を読まなくても公共料金の支払いができるようにするため	4. 言葉がわからなくても直感的に意味を伝えることで、急増する訪日外国人の利便性を高めるため
--	--	---	--

1. 人口を面積で割る 2. 面積を人口で割る 3. 人口に面積をかける 4. 人口から面積を引く

1. 大学と警察署 2. 市役所・区役所と消防署 3. 市役所・区役所と郵便局 4. 消防署と郵便局

1. 針葉樹林 2. 畑 3. 果樹園 4. 田

1. 領海の外側から200海里までの範囲を指し、沿岸国は水産資源を管理する権利を持つが、他国の船の航行を禁止することはできない。
2. 領海を含めて200海里までの範囲を指し、その上空である領空についても沿岸国が独占的な主権を持つ。
3. 海岸から24海里までの範囲を指し、密輸や密入国を阻止するために沿岸国が監視を行うための水域である。
4. 海岸から12海里までの範囲を指し、日本の法律が全面的に適用されるため、他国の船の通行には事前の許可が必要である。

1. あらかじめ結果を考察してまとめを作成し、その内容が正しいかどうかを確認するためにテーマを決めて野外調査に行く。
2. 調査のテーマを決めた後、すぐに野外調査を行い、調査が終わってから結果を予想するための仮説を立てる。
3. まず野外調査行って地域の現状を把握し、その結果に基づいて調査テーマを決定し、最後に仮説を立てる。
4. 調査のテーマを決め、結果を予想する仮説を立ててから、野外調査を行い、得られた情報を考察してまとめる。

1. 日本最北端の択捉島は、日本が領有権を主張している島の中で最も北に位置している。
2. 日本列島の東の端に位置する与那国島は、晴れた日には台湾が見えるほど近い場所にある。
3. 日本最南端に位置する南鳥島は、サンゴ礁が削られるのを防ぐために護岸工事が行われている。
4. 日本列島の西の端に位置する島は択捉島であり、北方領土に含まれる。

1. 四方を海に囲まれた島国であり、多くの離島が各地に点在しているため
2. 北極海や大西洋などの広大な公海に直接面している特殊な地形のため
3. 大陸と地続きであり、隣接する諸国との海岸線の距離が非常に長いため
4. 国土の大部分が山地で占められており、居住可能な平地が少ないため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 排他的経済水域	海岸線から12海里（約22km）までの「領海」では沿岸国の主権が及びますが、200海里以内のこの水域では、主権そのものではなく、水産資源や鉱産資源の探査、開発、保全に関する独占的な権利（経済的権利）が認められています。日本はこの広大な海域を管理することで、多くの資源を確保しています。
問2	答え 3 調査の方向性を定め、限られた時間の中でどのような情報を重点的に収集すべきかを明確にするため。	地域調査における仮説設定は、調査を効率的かつ論理的に進めるための重要なプロセスです。仮説がないままフィールドワークを行うと、何を観察すべきか、誰に話を聞くべきかが曖昧になり、深い分析が困難になります。仮説を立てることで、調査すべき対象や場所が具体化され、事実に基づいた検証作業が可能になります。
問3	答え 1 国後島と択捉島	北方領土の4島のうち、面積が約1489平方kmで2番目に大きいのは国後島であり、約3167平方kmで最も大きいのは択捉島です。最も面積が小さいのは約93平方kmの歯舞群島、2番目が色丹島という順序をあわせて覚えることで、島名と規模の関係を正確に判断できます。
問4	答え 3 排他的経済水域	沿岸から12海里以内の「領海」とは異なり、200海里以内において資源の独占的権利を持つ範囲を指します。日本は島国であるため、国土面積に比べて非常に広大なこの水域を有しており、水産資源や海底資源の確保において重要な役割を果たしています。
問5	答え 4 約203メートル	二万五千分の一地形図の主曲線は10メートル間隔で引かれています。海拔0メートルから数えて3本目の主曲線上に位置する寺院の標高は、10メートル×3＝30メートルと算出できます。山頂の標高が232.9メートルであるため、その差は232.9－30＝202.9となり、約203メートルの標高差があることがわかります。
問6	答え 3 択捉島	日本の領土の北端は、北海道の北東に位置する北方領土の一つである択捉島です。北海道の本島にある宗谷岬（稚内市）よりもさらに北に位置しています。なお、東端は南鳥島、西端は与那国島、南端は沖ノ鳥島であり、これら四端の名称と位置関係を正確に把握しておく必要があります。
問7	答え 4 言葉がわからなくても直感的に意味を伝えることで、急増する訪日外国人の利便性を高めるため	2000年から2015年にかけて、日本を訪れる外国人客数は急激に増加しました。特に、訪日客の7割以上を東アジアからの人々が占めるなど、多様な言語を話す人々が公共施設を利用するようになっています。こうした状況に対応するため、言葉の壁を越えて直感的に意味が伝わる「案内用図記号（ピクトグラム）」を国際規格に共通化させることで、誰もが安全かつ円滑に施設を利用できる環境整備が進められています。
問8	答え 1 人口を面積で割る	人口密度は、一定の面積（通常は1km ² ）に対して、どれだけの人数が居住しているかという「混み具合」を表す指標です。そのため、全体の人数である「人口」を、その地域の広さである「面積」で割ることで、単位面積あたりの数値を算出します。
問9	答え 3 市役所・区役所と郵便局	地形図における二重の丸（◎）は市役所や東京都の区役所、町村役場を表し、「〒」を丸で囲んだ記号は郵便局を表します。公共施設は地域の中心的な機能を持つため、その記号を正しく読解することは、周辺の土地利用や地域の性格を把握する上で欠かせません。ちなみに、消防署は「Y」のような形、大学は「文」を丸で囲んだ記号で表されます。
問10	答え 4 田	地形図に記載された「田」の記号は、集落の周辺や山の麓などの平坦な土地に広がっていることが多く、地域の土地利用の特色を表しています。読解の際には、方位を示す記述と地形の起伏、そして地図記号を組み合わせることで周囲の状況を判断します。特にこの地域では、集落と山の間の空間がどのように利用されているかを把握することが重要です。
問11	答え 1 領海の外側から200海里までの範囲を指し、沿岸国は水産資源を管理する権利を持つが、他国の船の航行を禁止することはできない。	排他的経済水域は、資源に関する独占的な権利を認める一方で、他国の船の航行や航空機の飛行については、領海とは異なり原則として自由が認められています。そのため、他国の船舶がこの水域を通過すること自体を禁止することはできません。日本にとってこの水域は、漁業の維持や海底資源の確保といった経済的側面で極めて重要な意味を持っています。
問12	答え 4 調査のテーマを決め、結果を予想する仮説を立ててから、野外調査を行い、得られた情報を考察してまとめる。	地域調査を論理的に進めるためには、まず「何を明らかにするか」というテーマ設定が必要です。次に、既存の資料などから結果を予測する「仮説」を立てることで、調査すべきポイントが明確になります。その上で実際の「野外調査（実地調査）」を行い、最後に得られたデータと仮説を照らし合わせて「考察・まとめ」を行うのが正しい順序です。
問13	答え 1 日本最北端の択捉島は、日本が領有権を主張している島の中で最も北に位置している。	日本の最北端は択捉島であり、国後島、色丹島、歯舞群島とともに北方領土を構成しています。択捉島は日本が領有権を主張している範囲において最も北に位置する島です。選択肢にある「西の端」は与那国島、「最南端で護岸工事が行われている」のは沖ノ鳥島、「東の端」は南鳥島であり、それぞれの島名と特徴、位置関係の組み合わせを整理しておく必要があります。
問14	答え 1 四方を海に囲まれた島国であり、多くの離島が各地に点在しているため	排他的経済水域は、領海の外側に位置する、沿岸から200海里（約370km）までの水域を指します。日本は四方を海に囲まれた島国であり、さらに沖ノ鳥島や南鳥島といった離島が日本の端に位置していることで、それぞれの島を中心に広大な水域が設定されています。その結果、国土面積の約12倍に相当する、世界有数の規模の排他的経済水域を持つことになります。